

元気なふるさと鹿角・小坂 いきいき地域づくり活動表彰



県では、地域づくり活動に取り組む気運の醸成、活動の普及・拡大を図るため、地域における身近な課題の解決や特色のある地域づくりに自主的・主体的に取り組む、継続的な活動を行っている団体・個人を、各地域ごとに募集、表彰しております。鹿角地域では、初年度（H19年度）からこれまでに71の団体・個人を表彰しており、地域に根ざし、より良い地域づくりのため自ら積極的に取り組まれている、その活動の概要についてご紹介します。（敬称略）

令和4年度表彰（5件）

鹿角民話の会とってはらえ	鹿角手話研究会「こぶしの会」	シニアネット鹿角
平成5年から鹿角地方に伝わる民話や伝説の「むがしっこ」の発掘と研究をはじめ、後生に語り継ぐ活動をしています。 現在まで約30年間、各地域での語りの集いや小学校での語りの指導で郷土愛を育むと共に、温泉ホテル宿泊客への語りで鹿角のPRも行っています。 直近の新たな活動として、鹿角市の「いつでも市長室」で「むがしっこ」を活用したまちづくりについて提言し、「八郎太郎物語」をテーマにした公開研修会を開催しました。今後は、子ども語りべ養成講座の発表会として「子ども語りべの集い」を開催する予定です。	手話の普及を通して、地域の聴覚障害者への理解を深めてもらうことと、手話でのコミュニケーションを図ることを目的に活動しています。30年以上の活動実績のある会です。 地元聴覚障害者を含む会員3名で尾去沢小学校正課クラブや鹿角市主催の手話奉仕員養成講座、子ども向けの手話体験講座などで講師を務めるほか、秋田県手話サークル連絡協議会や秋田県聴覚障害者福祉大会への協力も行っています。 今後も地域の手話講座の講師として、また、毎週の定例会では手話に関心のある方を招き、普及活動を継続していきます。	平成22年から高齢者のICT（情報通信技術）のスキル向上のため、高齢者によるパソコンを活用した鹿角地域のイベント情報の発信や、高齢者向けのスマホ講習会を開催するなどの社会貢献を目的に活動しています。 インターネット上のイベント情報カレンダーに掲載した情報は、きりたんぽFMでも毎日紹介されています。毎週の情報収集や入力のほか、明日の行事、当日の行事とフェイスブックやツイッターを利用して発信しています。スマホ講習会では、熱心に質問する高齢者の姿がありました。 今後は、鹿角の情報ポータルサイトの開設を目指しています。
竹村 政志（美藤会だより）	大里 哲三（アマチュア無線）	
平成28年から約7年間、小坂町の藤倉団地自治会の広報紙である「美藤会だより」を毎月自主発行し、約80戸の全世帯に配付しています。 回覧板では連絡内容や伝達力が不十分だと感じ、内容を盛り沢山にして手元に残る資料にしたいと思ったことがきっかけでした。 会員の高齢化が進む中、自治会の各種行事	平成3年から30年以上にわたり、アマチュア無線を利用して、日本全国に鹿角市の四季を通じた魅力を情報発信しています。 今年度は、鹿角市市制施行50周年賑わい創出補助金の交付を受けて、自宅のほか10月には十和田市民センターの文化祭会場から50周年記念ロゴと鹿角市の大日堂舞楽など各種世界遺産の写真を取り込んだ記念カード	

令和3年度表彰（3件）

北村 麗子（高齢者交流サロン「こやっこさおでください」主宰）	下モ平サロンJ&B	花輪かるた会
平成25年から十和田大湯荒瀬地区においてサロンを開設。近所の高齢者からお茶の飲み場がほしいとの要望をきっかけに、小屋を取得、改装しました。週6日開催し、自家用車で送り迎えもしています。談笑したり、カラオケやリハビリ体操などを楽しみながら、高齢者の心身の健康を保つように心がけています。	平成28年から尾去沢下モ平地区で高齢者の集いの場として、サロンを開設。毎週木曜日に、ラジオ体操や、井戸水のお茶等や、持ち寄った果物などを味わいながら世間話に花を咲かせます。時にはお悩み相談も。毎月最終週には、誕生会も開催しています。絵はがき教室なども開催し、市民センター祭りでの作品展示が会員の誇りにもなっています。	昭和37年に、花輪読書会で同好会を設立し、令和3年で60周年を迎えました。小倉百人一首競技かるた愛好者の拡大と交流融和、青少年健全育成として大会等を開催し普及振興に努めています。保育園のかかるた教室、子ども会対抗かるた大会、鹿角市かるた選手権大会や、平成30年と令和元年には競技かるた全国大会を開催しております。

令和2年度表彰（5件）

秋田県立比内支援学校かつの校高等部	大久保自治会	夏井自治会
秋田県立比内支援学校かつの校高等部様は「鹿角ヨクシ隊」に任命されたことをきっかけに「鹿角戦隊リンゴレンジャー」の活動をはじめました。生徒の運営で様々なショーの開催や挨拶運動を実施しており、地域の安全と平和を守るための活動に精力的に取り組んでいます。	地域の農地保全活動や年4回発行される自治会報など各種活動に継続的に取り組んでいる自治会です。農地の保全活動への取組は平成19年から実施されており10年を超える今でも住みよい地域づくりのために、子どもから大人までが参加しています。	地域内にある山々への想いから「森林に親しみ森林を育て、森林から学ぼう」をテーマとした植樹や、様々な伝統行事に精力的に取り組んでいる自治会です。ブナやナラなどの植樹やしいたけの駒うち活動の際には、子どもを中心として事業を展開する事で各種環境問題への意識啓発を図っています。

パソコン・スマホ同好会「八重桜」 60歳以上の会員様のみで月に3回程度情報通信技術の利活用に関する教室を開催しています。会員が様々なスキルを身につける中で「自信を持つ事」をテーマとして活動しており、わきあいあいとした雰囲気喜びや楽しみを共有しながら交流活動を実施しています。	三上 豊 鹿角市内の自然や歴史など「地域の宝」の普及を通じて、持続的な地域づくり活動に長い間取り組んでいます。各種講演での講師役を務める他、日頃より「地域の宝」の保全活動を日常的に実施しています。	
--	---	---

令和元年度表彰（6件）

乳牛二区自治会 昭和45年に結成し、50周年を迎えた自治会です。地域の団結を図り、元気な自治会活動を継続させるため多世代交流活動を積極的に実施しています。目玉行事である町内運動会は100人以上の規模で毎年実施されており、子どもから高齢者まで幅広い年代での交流に取り組んでいます。	J A かつの青年部・花輪支部 米の消費拡大を目的として、鹿角の米農家が育てた“鹿角産あきたこまち”を使用し、地元蔵元で醸造された「おらどの酒」事業を実施するなど年間を通して精力的に活動しています。また、啓発看板制作事業や各種イベントへの出店販売などを積極的に実施しています。	新花町自主防災会 大型地震の多発をきっかけとして町内会内で防災への意識が高まり、平成21年から10年以上活動している自主防災組織です。自主的な防災活動により地震その他の災害の被害防止・軽減を図ることを目的とし、災害発生時の体制づくりや防災知識の普及・啓発に取り組んでいます。
ロケーションかつの 鹿角市、小坂町の有志により結成されたフィルムコミッションです。主に映画やドラマ、CMやバラエティ番組及び出版物のロケ支援を実施しています。年に1～2回情報紙を発行し、全国の映像制作会社などへの周知に取り組んでいます。	N P O 法人関善賑わい屋敷 重要な文化財の保存・活用等を通じて町の活性化につなげることを目的に平成14年に設立されたN P O 法人です。曳家工事等を経て、15年以上旧関善酒店の保存に取り組んでおり、花輪朝市の運営業務についても指定管理者として取り組んでいます。	傾聴ボランティアの会「一休さん」 お茶っこサロン「一休さん」や自殺予防啓発活動などを通じて地域の方々の身近な相談相手となり、自殺の未然防止や安心して暮らせる地域づくりをサポートしています。毎週水曜と毎月1、11、21日の「一休さん」の開設に加えて、イベントでの出張お茶っこサロンの実施、自殺予防啓発活動など精力的に活動しています。

平成30年度表彰（5件）

下タ町自治会 地域の団結を図り、共助の意識を向上させるため、夏祭りや運動会など、多世代交流活動を積極的に実施しています。また、長年に渡り精力的に発行されている自治会報は、鹿角市で最多の世帯数を抱える自治会内での円滑な情報共有の一助となっています。	大湯「バンジーの会」 少子高齢化により元気がなくなってきた地域のために、平成18年から大湯環状列石の隣接地に花畑を整備しています。メディアへの発信を通じた誘客活動だけでなく、地元の小学校の児童や福祉施設入所者と共に花畑を整備することで、レクリエーションや地元愛の醸成といった役割も担っています。	サロン“De・シャペール” 毎週水曜日に尾去沢市民センターで開かれる喫茶コーナーです。地域住民の居場所づくりのため、平成20年にセンターの女性隊員が開設しました。コーヒーやお菓子、コースターなども手作り、温かな雰囲気を大切にしながら活動しています。
藤倉団地自治会「美藤会」 高齢化が進む中でも安心して生活できるように、自主防災訓練や運動会など、様々な行事を企画しています。消火訓練や炊き出し訓練など、実践的な活動に取り組んでいます。また、一人暮らしの高齢者名簿を作成し、声かけや見守り活動にも取り組んでいます。	藤田 広志 平成29年にUターンしたことをきっかけに、鹿角市や小坂町の美しい風景を撮影し、写真展やSNS、子どもたちへの講話などを通して市内外に発信する活動を続けています。他にも、大湯環状列石のボランティアガイドや、健康志向の料理教室開催など、地元のために幅広く活動しています。	

平成29年度表彰（4件）

花輪ばやし若者頭協議会 花輪ばやしの参加者を増やそうと、平成26年から「後継者育成事業」に取り組んでいます。花輪地区内外の学校等での「出前授業」とイベントやフェイスブックを通じたPR活動等により、花輪ばやしの後継者の確保と魅力発信に熱心に取組んでいます。	おはなしぼくす 小坂小学校から読み聞かせボランティアの依頼があったことをきっかけに、平成18年から小坂町を中心に読み聞かせ活動を続けています。町の図書館の本を活用し、小中学校での読み聞かせ、長期休みの子ども向けの読み聞かせを行っている他、大人向けの読み聞かせも行う等、幅広い世代に本の楽しさを伝えています。	小坂町立 小坂小学校・小坂中学校 人口減少に伴う様々な問題を解決するため、「小坂町活性化アクションプロジェクト（KKAP）」に基づく地域貢献活動を平成29年度から本格的に開始しています。小学6年生が小坂町の観光パンフレットを作成し、修学旅行先や大館きりたんぼ祭りで配布したり、中学3年生が模擬議会を開催し、町当局へ提言する等の活動を行っています。
手づくり工房&カフェ 花いちもんめ 手作り講座で出会った者同士で手作りへの思いを実現するため、平成25年に、カフェと手芸品や民芸品を販売する店舗を小坂町にオープンしました。店舗では会員が手づくりした手芸品等を委託販売したり、来訪者の要望を聞いて手作り教室を開いたりする等、地域の方の生きがいがづくりに貢献している他、「おはなしぼくす」と共同でおはなし会を開催する等、店舗を活用した活動も行っています。		

平成28年度表彰（5件）

岩城 淳一 鹿角市尾去沢の三ツ矢沢地域における地域活性化を図るべく、特産品としての漬け物を主体的に考案し、「でんぱく」では語る部となって旧尾去沢鉱山の見学や地域の散策イベントを企画しました。また、現在は地元を離れて暮らす地域出身者を招き交流会を開催するなど、地域住民と協力しながら活動を行っています。	鹿角紫根染・茜染研究会 奈良時代から伝承されてきたとされる「鹿角紫根染・茜染」の伝統文化を現代に継承し、鹿角の持つ豊かな文化的背景を広く知らしめる目的で活動しています。月1回の染め物研修会の実施により会員同士の技術向上及び交流を図り、また、小中学生を対象にした染め物体験教室も実施しています。	NPO法人 コールサービス孫の手 高齢者世帯を対象にした会員制のサービスとして、毎朝の電話によるあいさつや、買い物や通院の際の外出支援、除雪作業の支援などを行っています。こうした活動により、高齢者世帯が抱える寂しさや不安を取り払い、一緒に楽しみながらかゆいところに手が届く「孫の手」のような存在になることを目指しています。
ふれあい森遊会 志張温泉元湯敷地内に自生していたカタクリの花に魅せられたことをきっかけに、森林内の整備活動や散策路設置などに取り組んでいます。また、自然と接する機会が少なくなりつつある子どもたちを対象に自然体験学習を行い、自然の素晴らしさを伝える活動も行っています。	米代地区グランドゴルフ同好会 毎週の練習会や月1回の大会などにより、グランドゴルフ技術の向上と会員の親睦を深めています。会員のほとんどが60歳以上の高齢者ですが、活動により健康の維持増進や日々の活力獲得といった、生きがい作りに役立っています。	

平成27年度表彰（4件）

NPO法人 かつのふるさと学舎	NPO法人 鹿角親交会	鹿角ふるさと大太鼓の会
旧鹿角市立中滝小学校を改修した交流体験拠点施設「中滝ふるさと学舎」などの指定管理を行っており、そば打ちや石窯でのピザ作りなどの食の体験、大湯の淹めぐり、森林セラピーなど様々な体験メニューを準備し、市民を巻き込んだ交流活動の支援をしています。	鹿角地域で暮らす精神障害者の家族会を母体に平成12年8月に設立した団体で、精神障害者の在宅支援、地域支援を目的に活動を行っています。ドクダミや笹の葉などを使用した野草茶づくりや手芸製品の製造を行っているほか、弁当の製造・配達事業「くう兵衛」にも取り組んでおり、要望があれば配達時に安否確認のサービスもを行っています。	鹿角・小坂地域の太鼓文化の継承と活性・発展を目標に掲げ、昭和55年から活動を開始し、年に1度大響演会を開催しています。また、花輪ばやし駅前行事の前座公演として合同響演を行い、観光客に大太鼓の魅力をPRしています。鹿角・小坂地域に現存するおよそ200胴の大太鼓を集結させ、合同演奏することを目指しています。
鹿角市花輪横丁桜会 4月1日から10月末日まで毎朝6時30分から鹿角市福祉保健センター前広場でラジオ体操を行い、その後下花輪地区内を30分間ウォーキングしています。平成22年から活動を開始しました。花輪横丁地区の高齢の方たちが主なメンバーですが、今後はさらに参加年齢層の幅を広げ、近隣市町村のラジオ体操会とも交流活動の推進を図っていききたいとのことで		

平成26年度表彰（6件）

秋田県立十和田高等学校食物部	小豆沢青年会	鹿角のエネルギーを考える会
地元のイベントに積極的に参加し、かつの牛・桃豚・リンゴなどを使ったオリジナルメニューを提供し、地元の食材をPRしています。高校生が元気に活動する姿を見てもらい、地元で元気を与え、地域活性化につながることを願っています。	鹿角市八幡平の小豆沢自治会の青年部として、大日堂舞楽に関する役割などを担いながら、平成23年度より世代間交流の促進や少子化対策に関する事業を実施してきました。今後も自治会行事を大切に、地域が元気になるような事業の企画を行っていく予定です。	新エネルギー構築を目指して活動しています。これまでに「新エネルギー講座」や地元イベントでの洋服交換会「xChange」を開催、でんぱくでもプログラムを提供しました。地域資源を活用した経済の活性化により、次の世代へ豊かな鹿角を受け継ぐことを目標として、活動していきます。
GET UP PROJECT 平成22年から、「鹿角で何か楽しいことを作ろう!」と、バンド演奏や飲食ブースなどの様々なイベントを始めました。特に、平成24年からは出会いや婚活イベントを始め、今年度は鹿角市外の人も巻き込んで「鹿コン」という出会いイベントを実施してきました。鹿角の良さを伝え、若い世代の人たちが暮らしたいと思えるような地域づくりを目指します。	出羽神社権現舞保存会 神楽の一種である出羽神社権現舞は、昭和40年頃に一度途絶えましたが、平成14年に保存会が結成され、平成17年に本格的に舞を復活させました。以降、9月8日の秋季例祭の日のほか、町の行事の場でも舞を披露しています。小坂町に残っている唯一の神楽である出羽神社権現舞の民俗行事の伝承と後継者育成にも今後力を入れていきます。	フラワーロード中道 鹿角市花輪の鶴田地区にある、通称「中道通り」に、集落の方々が協力し合い、平成26年度に花を植えました。たくさんの方が並び、明るく生まれ変わった中道通りは、市民の憩いの場として子どもやお年寄りが多く訪れるようになり、近所の小学校との交流も始まりました。地域の親睦が深まることを目的としたこの取組が、今後、他の地域にも広まることを願って活動を継続します。

平成25年度表彰（5件）

新山パークゴルフ愛好会（SPGA）	大湯第二泉寿会	上町北限の桃づくり同好会
地域共同の衰退が進むなか、パークゴルフを通じて、30～70代という幅広い年代の会員が、生きがいづくりや仲間作りをしています。地域の人口減少や高齢化が進むなかで、「みんなが元気で楽しく」をモットーに地域を盛り上げるために活動しています。	寝たきりの老人を少なくしようと、老人クラブとして、「かつの再発見」を合言葉に健康ウォーキングを実施しています。様々なコースを楽しみながら歩き続け、今年は健康管理についての学習会も実施しました。	放置されていた休耕地を自ら開墾し、鹿角市の特産品「かつの北限の桃」を植栽し、収穫して地域の方々に贈呈したり、販売したりしています。「かつの北限の桃」のブランド化を推進し、また、地域の仲間の絆がより強くなることを願って活動しています。
濁川自治会 江戸時代から始まった地域の豊作と除虫を祈願する伝統行事「虫送り」の継承活動をしています。虫送りは戦後一時期断絶しましたが、平成初期に復活し、平成14年から濁川自治会が実施主体となりました。小坂町で唯一となった虫送りを守り、次世代に伝えていこうと、後継者育成にも努めています。	「やすらぎのベンチ」を設置する市民有志の会 鹿角地域を訪れる方々にゆっくり腰を下ろし、休憩してもらえる場所を提供するために、地域内にベンチを設置する活動を行っています。賛同してくれる方からの会費により材料を購入してボランティアがベンチを作製し、これまでに38脚のベンチを設置しました。	

平成24年度表彰（3件）

松館天神会	岩館 裕章	康楽館友の会
40年程前に植栽した桜がテングス病に侵され花を見ることができなくなったので、老人クラブ有志が松館天神会を発足させ、テングス病の木の伐採、苗木の補植などを行ってきました。天神グラウンドと天満宮をふれあいの場として活用し、安全・安心な地域づくりに取り組んでいます。	現在恩徳寺の副住職を務めているが、プラネタリウム勤務の経験を生かし、お寺や学校などで「テラネタリウム」と題した星座観察会を開催しています。地域住民が星座に親しみ、触れ合いを深めることで、地域の輪が広がっていくことを目指しています。	昭和63年の「康楽館を守る会」に始まり、康楽館周辺の清掃や環境美化、会報による康楽館の情報発信、観劇券販売の協力、「早春芸能フェスティバル」の主催など、康楽館の保存・活用のための様々な取組を行っています。今後多くの観光客が訪れ、康楽館が賑わうことで、地域の活性化が図られるように活動を続けていきます。

平成23年度表彰（3件）

二北会	鹿角市立尾去沢中学校	郷土館友の会
自動車学校卒業生としての繋がりを通じて、安全運転をするための情報交換、運転技能のレベルアップ等を目的に、昭和51年から活動を開始しています。空き缶拾いなどのボランティア活動の実施など、長期で継続的な活動を行っています。	史跡尾去沢鉱山の協力を得て、校舎内等でガイド練習を続け、同施設内のボランティアガイドを行っています。ふるさと教育とキャリア教育との関連を図りながら、郷土への愛着心の醸成とコミュニケーション能力の向上をねらいに活動を開始しました。	郷土館・中小路の館でのボランティア活動、地域の昔からの暮らしについて後世に語り伝えていく「昔っこ」など、様々な取組を行っています。郷土館・中小路の館の利用促進、町内の歴史物の発掘に協力し、関係機関と共に、町民の文化活動の高度化を目指しています。

平成22年度表彰（5件）

秋田県立小坂高等学校 電気部	浅石 シガ	久保田団地自治会
地元保育園の壊れたおもちゃの修理するなどして、子どもたちへ「ものづくり」や「エコ活動」への取組を伝えています。学んだ技術を活かして地域へ貢献するとともに、小坂高等学校を広く知ってもらいたいという想いから、活動に取り組んでいます。	「山菜料理」「漬け物」「秋田ふき」「なっつ」など、地元の食材の特色を生かした鹿角の食と文化の伝承に努めています。「鹿角文化こだわり食育ボランティア」として、多方面で講師を務めています。	昭和39年の団地造成以来、住みやすい団地づくりを目指し、長年に渡り活動を継続しています。団地内の街灯を防犯に効果のある青色防犯灯に切り替え、住民の防犯意識を高めるなどの独自の取組を実施しています。

花輪下夕町農村婦人部

花輪下夕町農村婦人部	松館安全見守り隊
花輪下夕町地内の県道「田山花輪線」において、花壇の管理を行っています。婦人部を中心に、下夕町親睦会や自治会員の協力により、昭和58年の開始以来27年に渡り活動が続いています。	松館地区の子どもたちの下校の安全を確保するため、隊員12名の皆さんが同地区の巡回活動を実施しています。巡回中に、すれ違う子ども達が手を振ってくれることもあり、子ども達の身近な存在になっています。

平成21年度表彰（2件）

NPO法人 青垣	陣馬老人クラブ「陣友会」
精神に障害を持つ方々への自立支援や就労支援、活動支援などを行っています。鹿角市広報紙の梱包作業や石けんのラベル・シール貼りなどの作業を通じて、通所されている方の気持ちに寄り添いながら、地域の共同作業所として活動支援に取り組んでいます。	70歳以上の高齢者による団体であり、鹿角市十和田毛馬内陣馬地区の国道103号、282号の交差点に設置されている歩道橋の清掃活動、周辺のクリーンアップを行っています。きれいな街づくりを目指し、地域一帯となった環境美化活動を目指します。



平成20年度表彰（6件）

NPO鹿角くらすた	フラワーボランティアの会	濁川グランドゴルフ交流会
国体の卓球会場が鹿角だったことを機に会を発足し、下は幼稚園児から上は78歳まで、幅広い年齢層の人たちが卓球などのスポーツを通じてコミュニケーションを図っています。地域の人達が気軽に参加できるイベントなども企画したいと考えています。	小坂町明治百年通りに、クリスマスローズを植栽し、ハンギングバスケットの設置・管理も行い、平成17年には行政と民間とが協力した取組が評価されて「美しい町並み大賞」を受賞しました。	平成18年度、小坂町が制定した「みんなの地域づくり事業」制度がきっかけで、グランドゴルフ場を整備しました。高齢者の交流の場を設けることを目的に、広域にわたる活動を目指します。
元気クラブ	鹿角たばこ販売協同組合	鹿角市消防団・女性消防団員
鹿角市八幡平の老人クラブ「高砂会」のメンバーが主となり、元気クラブを発足。週1回の体操を通じて、高齢者の元気づくりを実施しています。今後は、手作りの昼食会なども実施しながら、地域で支え合う友愛活動として活動を継続していきたいと考えています。	昭和53年から十和田八幡平などのクリーンアップを行っています。鹿角だけに限らず、青森県の十和田組合、黒石たばこ組合にも参加を呼びかけ、現在は三組合同でのクリーンアップも実施しています。	地域で防火防災の啓発活動や、応急手当講習など、女性だからできる細やかな活動を行っています。仕事、火事、育児との両立は大変ですが、今後は、救命講習や独居老人宅への訪問防火指導などにも取り組みたいと考えています。

平成19年度表彰（4件）

演劇を楽しむ会	鹿角市立花輪第二中学校	蟹沢自主防災会、蟹沢婦人防火クラブ
演劇初心者の方々が、花輪公民館での演劇体験講座に参加されたのをきっかけに会を結成し、ボランティアの市民などとともに、これまでに年1回の定期公演を17年間続けてくるなど、鹿角地域を芸術活動の盛んな元気で心豊かな地域にすることを目指し活動しています。	地域のために学校が元気の源になろうと、「発信と交流」をテーマに全校一丸で地域への貢献活動を進めています。プルタブ・アルミ缶回収で得た収益金で地域の養護老人施設に車いすを贈るほか、全校生徒による地域清掃、地域の独り暮らしの高齢者へ年賀状送付などに取り組んでいます。	地域ぐるみでの総合防災訓練を6年前から実施し、豪雨災害時には訓練した土のう積みを実践し、浸水被害を未然に防止しました。そのほか、高齢者世帯の除雪、屋根の雪下ろしを毎年積極的に実施しています。
「北の演劇祭」実行委員会	 	
地域の有する歴史文化資源「康楽館」をアマチュア演劇団体の発表の場として活用し、演劇文化を向上させたいとの思いから、平成14年度から毎年「北の演劇祭」を開催しています。北東北の演劇集団や高校演劇部の交流の機会を創出・提供しています。		